



“まちづくり”を考える情報誌



おっ!! まっちい~

vol.

156

Let's まちづくり from now on

2026 OCTOBER

編集発行：群馬県県土整備部都市計画課

特集

新庁舎 はじめました☆

- 安中の 未来を担う 新庁舎
- 新庁舎からはじまる、
これからの大泉町のまちづくり

トピックス

ぐんま “まちづくり” シンポジウム

投稿

まちづくりは、ひとづくり。
—「球都桐生」が目指す地域の未来—

トピックス

GUNMA PASSPORTで、
群馬県がもっと好きになる

マーチィ's ROOM

まちづくりプレイヤー紹介
スポーツは、人と地域をつなぐ
～球都桐生プロジェクトから始まるまちづくり～



安中市役所 新庁舎 鳥瞰図



大泉町役場 新庁舎 鳥瞰図





特集

安中の 未来を担う 新庁舎

安中市 企画政策部 財政課

■ 新庁舎建設の経緯

安中市役所の旧日本庁舎は、南庁舎、旧庁舎、中庁舎、西庁舎など複数の建物で構成されており、特に旧庁舎と中庁舎は建築後50年以上が経過していました。耐震診断の結果、老朽化による耐震強度の不足が判明しました。さらに、災害時対応や市民利用への配慮、セキュリティ対策が不十分であるなど、多くの課題を抱えておりました。このことから、安全な防災拠点の確保等を目的として、「既存庁舎を活かした機能的で『シンプル・コンパクト』なSDGs型庁舎」をコンセプトとして事業を進めてきました。



安中市役所 新庁舎 外観

■ 新庁舎の特徴

1. 安全・安心な庁舎



2階待合スペース

耐震壁と斜め柱を組み合わせることで、耐震性能を確保しつつ、柱や壁の少ない空間を実現しました。このことにより、市民・職員の安全性はもとより、視認性の向上や、将来的なレイアウト変更にも対応しやすい構造としています。また、電力と通信は2つの経路から引き込むことで、これらの途絶を起こりにくくするとともに、自家発電設備により、72時間の電力確保ができるようにしました。これらにより、災害時にも行政機能を継続しやすい庁舎としました。

2. 自然にやさしい庁舎

省エネ設備・機器を採用することで、一次エネルギー消費量を50%以上削減する「ZEB Ready」を達成しました。さらに、待合スペースには中庭や吹き抜け、ハイサイドライトを設け、自然光や風を取り入れられるようにしています。このことにより、照明や換気の消費電力を削減しつつも、居心地の良い空間を実現しております。さらに、これらに自然排煙の機能を兼ねさせることで、排煙設備の導入・維持・更新コストを削減しました。



エントランスロビー

3. 安中らしい庁舎



議場

議場の内装には、上毛かるたにも登場する天然記念物である「安中原市の杉並木」をモチーフとして取り入れました。内装への市産木材の活用やハイサイドライトからの自然光により、木漏れ日を連想させる設えとしています。さらに、エントランスロビー等のコンクリートの型枠に杉材を用いることで、コンクリート表面に木目の風合いが表現され、柔らかく表情豊かな空間にしました。表面保護剤を塗布し、躯体そのままの仕上がりとする事で、内装材のコスト削減とメンテナンス性を兼ね備えたものとしています。また、庁舎へのアプローチ空間である「すぎなみきのみち」も同様に、杉並木を着想のもととしています。旧中山道沿いの歴史ある景観を

表現することで、故郷の面影を感じ、市民に愛着を持てただけよう工夫しました。

4. 遺構と庁舎との共存

飛鳥時代の東山道駅路跡や奈良時代の公的施設跡の遺構を可能な限り避けて庁舎を配置しました。その上で、外構デザインの中に遺構を表現する工夫を行い、遺構と新庁舎が共存する計画としています。単に新しい建物を建てるのではなく、地域の歴史や景観を受け継ぎながら、まちの将来を支える拠点として整備いたしました。





特集

新庁舎からはじまる、これからの大泉町のまちづくり

大泉町 企画部 財産管理課

大泉町では、新庁舎を中心拠点として、防災・行政・協働・にぎわいがつながる、未来を築くまちづくりを進めていきます。

■「行政の拠点」から「まちづくりの拠点」へ

大泉町では、令和8年5月に新庁舎の供用を開始しました。新庁舎の整備にあたっては、単に老朽化した庁舎を建て替えるのではなく、これからの大泉町の「まちづくりの中心拠点」とすることを目指しました。

新庁舎は、町民の皆さまへ行政サービスを提供する場所であると同時に、災害時には町の防災拠点として重要な役割を担います。災害対策本部として迅速に対応できる機能を整えるとともに、災害時にも行政機能を継続できるよう、建物の安全性や設備面についても防災の視点を取り入れています。



大泉町新庁舎 外観

■ 町民の参画と協働を支える庁舎



多目的ホール

一方で、私たちが目指したのは「災害に強い庁舎」だけではありません。新庁舎を行政だけが利用する施設とせず、町民の皆さまが訪れ、交流し、まちづくりへ参画いただける、協働の場所とすることも大切にしました。

そこで、屋内外一体となった様々な使い方に対応するために、屋内の町民エリア（多目的ホール・ロビー・待合スペースなど）と屋外の広場等の連続的な利用が可能となる配置としました。加えて、町民の多目的な活用に柔軟に対応するため、各会議室には可動式の什器や間仕切りを採用し、様々な大きさに変えることのできるフラットな空間として整備した上で、会議室等の貸出しを実施しています。

■ 新庁舎と周辺を一体的に整備

新庁舎の整備に続き、庁舎南側へ、多目的広場や公衆トイレ、周辺道路の整備を進めています。多目的広場等を新庁舎と一体的に整備することで、庁舎を訪れる人だけでなく、地域の方々が気軽に立ち寄り、イベントや交流などにも利用できる「開かれた公共空間」の創出を目指しています。

また、新庁舎だけを一つの施設として捉えるのではなく、周辺の公共空間や道路、既存施設とのつながりを意識し、「点」の施設整備から「面」のまちづくりへと広げていくことも重要だと考えています。



多目的広場予定地

■ 完成はゴールではなく、新たなスタート



新庁舎の様子

町民や職員に親しまれ、日々の活動を通じて「育っていく庁舎」を目指しています。

新庁舎は、完成したことがゴールではありません。これから実際に使いながら、町民の皆さまや職員の声を取り入れ、より使いやすく、より親しまれる施設へと育てていくことが大切です。

そして、新庁舎を起点として、人が集まり、人と人がつながり、新たな活動やにぎわいが生まれることで、その効果が周辺地域にも広がっていくことを期待しています。





ぐんま “まちづくり” シンポジウム

群馬県 県土整備部 都市計画課

令和8年7月15日、群馬会館にて「ぐんま“まちづくり”シンポジウム」が開催されました。今年度は「都市の新しい捉え方と魅力創出のまちづくり」をテーマに、群馬県まちづくり功労者表彰の表彰式や桐生市による事例発表、LIFULL HOME'S総研所長の島原万丈氏による特別講演が行われました。

第1部 表彰式

群馬県では、魅力あるまちづくりの推進に努め、顕著な功績のあった民間の団体や個人、市町村を表彰しており、昭和60年から実施している表彰は今回で41回目を迎えました。

今年度は、歴史ある野球資産と著名人の力を活かし、民間主導の柔軟な展開と持続的な仕組みで、地域価値を高める先進的な取組みを評価し、「球都桐生プロジェクト推進協議会」を表彰しました。

第2部 事例発表

続いて自治体の事例発表として、第1部で表彰となった「球都桐生プロジェクト」の取組について、桐生市市民生活部スポーツ・文化振興課より「～野球を地域活性化の一打に～球都桐生プロジェクト」と題し発表いただきました。

第1部での表彰にもつながった新桐生駅の球場化装飾や歴史的資産の保存・継承といった取組（「桐生“の”野球」）や、野球教室や東京六大学野球のオールスターゲームといったイベント（「桐生“で”野球」）について発表され、野球の盛んなまち桐生市のポテンシャルを感じる内容でした。

本号では球都桐生の取組について、別途記事の寄稿をいただいておりますので、そちらも是非ご覧になってください。



第2部 事例発表

第3部 特別講演

最後に特別講演として、LIFULL HOME'S総研所長の島原万丈氏にご登壇いただき、「センシユアス・シティ都市の魅力測る新しい評価指標」と題し、都市を体験する人々の幸福度に主眼を置いた、人々がまちに対して「なんかいいい」と漠然と感じる魅力とその価値を数値化し、客観的数値として広く社会に共有できる新しい都市評価指標「センシユアス・シティ調査」についてご講演いただきました。

2015年の調査から10年が経過し、都市政策の在り方もタワマン型再開発の行き詰まりやウォークアブルなどの公共空間重視といった変化が生じています。これらを踏まえ昨年度、10年ぶりに最新の調査が実施され、「馴染みの飲み屋で常連客と盛り上がった」、「公園や水辺で緑や水に直接ふれた」、「デートをした」など、まちを体験することで得られる主観的要素を回答者の申告によって集計し、都市の感覚的魅力を評価しました。

総合ランキングは1位が東京都千代田区・中央区、2位に横浜市西区、3位に東京都豊島区という結果であり、前回調査のランキングからの変化がみられる結果となりました（横浜市西区、東京都豊島区は前回TOP20圏外）。島原氏はこの結果をコロナ禍によるテレワークやオンライン活動の定着によるものと分析し、センシユアスな経験により蓄積された豊かなナラティブ（主観的な視点や感情に基づくストーリー）によって都市生活の幸福度を高めていくことが重要と結びました。



第3部 特別講演の様子（島原 万丈氏）





投稿

まちづくりは、ひとづくり。 — 「球都桐生」が目指す地域の未来 —

桐生市 スポーツ・文化振興課

このたび、「球都桐生プロジェクト」が群馬県まちづくり功労者表彰を受賞しました。

これまで本プロジェクトに関わってくださった企業、団体、学校、市民の皆様へ、改めて感謝申し上げます。

桐生市は、人口減少や少子高齢化、若い世代の流出など、地方都市に共通するさまざまな課題に直面しています。

こうした課題は、一つの部署、一つの施策だけで解決できるものではありません。行政の分野を越え、さらに行政と民間、地域がそれぞれの力を持ち寄り、新しいつながりを生み出していくことが必要です。

その一つの挑戦が、2022年に始まった「球都桐生プロジェクト」です。

桐生には100年以上にわたって受け継がれてきた野球の歴史があります。この地域資源を、単に「保存する歴史」とするのではなく、まちの未来をつくる力として活かしていく。そんな発想から、民間事業者の提案を受け、公民連携による取り組みとしてスタートしました。

これまで「球都桐生の日」の制定、球都桐生歴史館や野球ラボの開設、各種イベントなどを進めてきましたが、このプロジェクトの意義は、個々の事業そのものだけにあるわけではありません。スポーツを入口に、行政、企業、学校、地域団体、メディア、市民など、これまで接点の少なかった人や組織がつながり、新しい取り組みが生まれる。その「地域のプラットフォーム」が育ちつつあることに、大きな価値があると考えています。

行政内部においても同様です。スポーツは、健康、教育、文化、観光、産業、広報、シティブランディングなど、多くの政策分野とつながっています。「球都桐生」を一つの触媒として、組織の壁を越えて連携することで、従来の行政施策だけでは生まれにくかった新たな価値を創出できる可能性があります。

そして今、桐生市が次の段階で大切にしたいのが「ひとづくり」です。まちをつくるのは、最後は人です。特に、これからの桐生を担う子どもたちや若者が、相手を尊重し、ルールを守り、仲間を信じ、失敗を恐れず挑戦できる環境を地域全体で育てていくことが重要です。その土台となる価値観の一つが「スポーツマンシップ」だと考えています。

スポーツマンシップを競技の中だけにとどめず、学校、家庭、企業、地域へと広げていく。それは、子どもや若者が育ちたいと思えるまち、そして女性や若者から「暮らしたい、働きたい、関わりたい」と選ばれる桐生市をつくることにもつながっていくはずです。

今回の受賞をゴールではなく、新たなスタートとして捉えています。「球都桐生」で培った公民連携の仕組みを、スポーツの枠を越えた地域課題の解決へとつなげ、桐生ならではの地方創生のモデルへ育てていく。これからも市民の皆様、地域の皆様とともに、「まちづくりは、ひとづくり」という視点を大切に、一歩ずつ挑戦を続けてまいります。



様々な野球団体の垣根を越えて野球の未来を作るプロジェクト「球心会」代表の王貞治氏が球都桐生プロジェクトを視察（2025年8月26日）



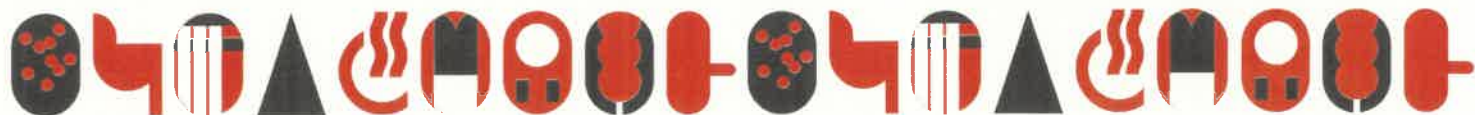
2023年のワールド・ベースボール・クラシックで侍ジャパンの監督を務め、チームを14年ぶり3度目の世界一に導いた栗山英樹氏を招いてシンポジウムを開催（2023年9月6日）



市内の多く企業の賛同を受け、東武線新桐生駅の球場化装飾を実施。球都桐生プロジェクトのスペシャルアドバイザーを務める高藤佑樹氏も参加（2025年3月27日）



JR桐生駅の構内に人気野球漫画「ダイヤのA（エース）」／講談社の主人公、沢村栄純投手のモニュメント像を設置（2025年9月10日）





GUNMA PASSPORTで、群馬県がもっと好きになる

群馬県 産業経済部 観光リトリート推進課

■ 群馬県と関わる「入口」として

「GUNMA PASSPORT」は、群馬県をもっと知り、もっと好きになり、より深い関係になっていただくことを目的に、群馬県と関わる「入口」として企画をしたパスポート型のパンフレットです。県の歴史や文化、温泉、食、産業など群馬の多面的な魅力を掲載しています。また、県内35市町村を巡り、スタンプを集めることで、それぞれの地域の魅力に触れていただく仕組みになっています。

地域ごとに異なる歴史や文化、知る人ぞ知るスポットなど、実際に足を運んだからこそ出会える魅力もたくさんあります。実際のパスポートのような仕様や、手に持った時の満足感のあるデザイン性にもこだわり、手に取って、持ち歩いて、旅の思い出として残るものを目指しました。



■ 「面白い」から「行ってみたい」へ



第1弾 5/1の交付の様子

魅力を知ることができた」といった声も届いています。話題性だけで終わらず、実際の「人の動き」につながっていることを嬉しく感じています。

GUNMA PASSPORT交付後は想像を超える反響があり、SNSを中心に大きな話題となりました。「ついに群馬はパスポートがないと入国できなくなった」といったユーモアあふれる投稿の一方、「群馬に行ってみたい」「スタンプを全部集めたい」といった声も数多く寄せられました。

9月9日時点で交付数は約31,000冊、35市町村全てのスタンプを集めたコンプリート者は593人。実際に各地を巡った方からは、「初めて行ったところもあり、新たな



第2弾 7/7の交付の様子

■ GUNMA PASSPORTを片手に、まちを歩く

GUNMA PASSPORTで大切にしているのは、目的地だけを指すのではなく、その土地ならではの食や景色、文化、人との出会いまで含めて楽しんでいただくことです。実際、スタンプ設置場所からは、「パスポートを持った人がたくさん来ている」「買い物をしてきている」といった声が寄せられています。

一つの市町村を訪れたことをきっかけに「次はここへ行ってみよう」と新たな目的地が生まれます。こうした県内の周遊が、飲食や買い物、宿泊など地域での消費にもつながり、地域が活性化することを期待しています。

■ まだ知らない群馬を探しに

また、GUNMA PASSPORTを活用した特典キャンペーンなどを始める事業者が出てきており、地域から新たな動きも生まれています。今後も地域や事業者の皆さんと連携しながら、継続的な誘客や観光消費の拡大につなげていきたいと考えています。

現状、希望される皆様にまだ行き届いていない状況です。10月と12月には、それぞれ3万部の申請・交付開始を予定していますので、この機会に手に入れていただき、ぜひGUNMA PASSPORTを片手に、まだ知らない群馬を探しに出かけてほしいと思います。



特設サイト
はこちら





マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりプレイヤー紹介

スポーツは、人と地域をつなぐ ～球都桐生プロジェクトから始まるまちづくり～

株式会社ノッティングヒル

我々は、「地方に“まさか”を仕組みで生み出す会社」を目指し、競技そのものではなく、スポーツの持つ「人と人、人と地域をつなぐ力」に着目し、その価値を生かした地域づくりに日々取り組んでいます。

スポーツの本当の価値は、勝敗や記録ではなく、人と人をつなぐ力にある。この考え方が、球都桐生プロジェクトをはじめとする、私たちのすべての活動の出発点になっています。

桐生市には、100年以上続く野球の歴史があります。その歴史は地域の資産として活かし、新たな人の流れや交流を生み出してこそ本当の価値になると考え、2022年4月に桐生市へ提案したのが、「球都桐生プロジェクト」です。

野球をきっかけに人が集まり、企業が関わり、子どもたちが夢を持ち、市民が地域に誇りを持てる。そんな未来を描き、桐生市にご理解をいただき、公民連携事業としてスタートしました。その後、「球都桐生の日」（9月10日）制定をはじめ、球都桐生歴史館や野球ラボの開設、様々なイベントの開催など、多くの企業や団体、市民の皆さんとともに取り組みを積み重ねてきました。しかし、私たちが本当につくりたかったものは、イベントでも施設でもありません。行政、企業、学校、地域メディア、市民が自然につながり、新しい挑戦が次々と生まれる「地域のプラットフォーム」です。

そこで培われたネットワークや仕組みは、野球だけでなく他のスポーツへも展開できますし、健康づくりや教育、文化、観光など、様々な分野へ発展させることもできます。

スポーツは目的ではなく、人をつなぎ、地域を育てるための入口なのです。

そして、その地域づくりの中心に置きたい価値観が「スポーツマンシップ」です。スポーツマンシップとは、勝敗を超えて、相手を尊重し、ルールを守り、仲間を信じ、挑戦する人を応援する姿勢です。私たちは、この価値観は競技の世界だけのものではなく、企業や学校、家庭、地域にも必要なものだと考え、「スポーツマンシップの入っているまち、桐生」を目指しています。

その象徴的な取り組みとして、今年9月には国内初となる「スポーツマンシップサミット」を桐生で開催しました。国民栄誉賞を受賞した高木美帆さんをはじめ、競技や立場を超えた多くの方々とともに、スポーツマンシップを地域文化として考える、新たな一歩となりました。多くの地域課題を抱える地方では、地域に暮らす一人ひとりが互いを尊重し、応援し合い、それぞれの立場で地域に関わっていくことが欠かせません。スポーツには、そのきっかけをつくる力があります。私たちが目指しているのは、「野球のまち」ではありません。スポーツマンシップが人をつなぎ、人が地域を育てるまちです。「スポーツマンシップの入っているまち、桐生」。その挑戦を、これからも行政、企業、市民の皆さんとともに、一歩ずつ積み重ねていきたいと思ひます。



競技の枠を超えて人と人をつなぎコミュニティを活性化するツールとしてスポーツを活用



東京から桐生訪問の窓口となる東武線新桐生駅を野球場のように改装。東武鉄道含め地域の多くの企業を巻き込み事業を推進



地域の企業もスポーツマンシップを積極的に活用し、「ビジネスパーソン」としての成長を目指す



最新の測定機器を導入した野球ラボを廃校となった桐生南高校跡の「KIRINAN BASE」に開設。怪我無く生涯に限りスポーツを続ける環境作りを進める



まちづくり イベント情報

ぬまた市産業展示即売会

沼田市の生産品、工芸品など「沼田のいいもの」を多数集めて展示即売会を行います。10日は上州沼田真田まつりと同時開催。

■10月10日(土)～11日(日) 10:00～16:00
(11日は15:00まで)

■沼田公園グラウンド

【お問い合わせ先】

沼田市産業振興課

商工振興係

TEL 0278-23-2111

(内線5005)



令和8年度上州沼田真田まつり

火縄銃演武やキッズイベントなど盛りだくさん！
共同開催のぬまた市産業展示即売会にも注目!!

■10月10日(土) 10:00～15:00(雨天決行)

■沼田公園グラウンド 群馬県沼田市西倉内町594

【お問い合わせ先】

沼田市役所観光交流課

TEL 0278-23-2111



令和8年度よしおかふるさと祭り

商工会・農協等の関係団体・町内団体・連携企業等の出展やステージ発表を主として、毎年秋に開催します。

■10月18日(日) 9:00～15:00

■吉岡町役場北駐車場、文化センターほか

【お問い合わせ先】 吉岡町役場企画財政課企画室

TEL 0279-26-2241(直通)



第18回 中之条町 りんご祭り

中之条町の旬のりんごを存分に堪能できます！
りんごをテーマにした楽しいイベントも満載です！

■10月18日(日) 9:00～15:00

■中之条ガーデンズ前道路 特設会場(歩行者天国)

【お問い合わせ先】

中之条町役場 農林課農政係

(中之条町果樹研究会事務局)

TEL 0279-75-8844



なかのじょうマルシェ2026

食と農の祭典「なかのじょうマルシェ」を開催します。
町内事業者を中心に、新鮮な野菜やりんご、新米などの農産物や加工品の販売を行います。

■10月25日(日) 10:00～15:00

■中之条ガーデンズ特設会場

【お問い合わせ先】

中之条町役場 農林課

TEL 0279-75-8844



HALLOWEEN PARTY ハロウィンパーティ ワークショップ&フリーマーケット

子どもも大人も仮装で盛り上がる屋外イベント、「みんなで踊ろうハロウィンパーティ」や「子どもハイアンドローゲーム」など。ワークショップとフリーマーケットも同日開催。駐車場・入場料無料

■10月25日(日)

10:00～15:00

■観音山ファミリーパーク

【お問い合わせ先】

群馬県立観音山ファミリーパーク

TEL 027-328-8389



第31回 邑楽町産業祭

実りの秋を賑わす産業祭では、模擬店などのイベントが盛りだくさん。邑楽町の秋を感じてください。

■11月1日(日) 9:00～15:00

■おうら中央多目的広場

【お問い合わせ先】

邑楽町商工振興課

(邑楽町産業振興会事務局)

TEL 0276-47-5026



伊参スタジオ映画祭

中之条町で開催される映画祭。今年で第25回を迎え、全国から作品を募集し、映像化するシナリオ大賞も持っている。

■11月7日(土)～11月8日(日)

詳細は随時映画祭HPへ掲載されます。

■伊参スタジオ公園

【お問い合わせ先】

TEL 0279-26-7727



上三原田の歌舞伎舞台

「創建者150年大遠忌公演」

舞台を建造した永井長治郎翁の没後150年を記念し、例年では見られない観客席の屋根を造作した特別公演を開催

■11月7日(土)～11月8日(日) 9:30～16:00

■上三原田の歌舞伎舞台(渋川市赤城町上三原田269-1)

【お問い合わせ先】

上三原田の歌舞伎舞台

「創建者150年大遠忌公演」

実行委員会事務局

渋川市教育委員会

文化財保護課

TEL 0279-52-2102



本と珈琲とちょこっとオヤツな1日

自然豊かな公園で読書やチャリングを楽しみながら、こだわり抜いた珈琲とオヤツやパンを手に気ままにくつろげる空間を…。『大人のための新しい公園の過ごし方』をテーマに開催される。県内外から約400の人数が集結、同日「本のとりかえっこ」も開催。寄贈された本をその場で読む・無料で持ち帰ることが出来る。フリーライブも開催決定。

■11月8日(日)

10:00～15:00

■観音山ファミリーパーク

【お問い合わせ先】

群馬県立観音山ファミリーパーク

TEL 027-328-8389



和の風が香る、大正ロマンエリア

歴史ある建造物に囲まれ、受け継がれてきた日本の伝統文化をゆっくりと味わってみませんか。当日は、心に響く寺澤ひろみさんのハーモニカ演奏をはじめ、華やかな着物ファッションショー、心温まる映画「お茶をつく」上映、そして日本文化を身近に楽しめるお抹茶体験をご用意しています。コンサートと映画上映は各先着60名

抹茶体験参加費：300円

■11月8日(日) 10:00～15:30

■沼田市上之町大正ロマンエリア

旧日本基督教団沼田教会記念会堂、

旧久米家住宅洋館

【お問い合わせ先】

沼田市観光協会

TEL 0278-25-8555



..... おしらせ 第3回リノベーションスクール@みどり 事前講演会

第3回リノベーションスクール@みどりの開催に先立ち、「リノベーションまちづくり」の取り組みや考え方を紹介する事前講演会を開催します。

■11月8日(日) 12:30 開場

13:00～14:30 講演会(定員:50名程度)

14:40～17:00 まちあるき・グループワーク

(定員:15名程度)

■みどり市役所大間々庁舎

3階大会議室

【お問い合わせ先】

みどり市観光課

にぎわい創出係

TEL 0277-76-1270



総合建設コンサルタント

株式会社 アイ・ディー・エー

I.D.A

群馬県高崎市倉賀野町4221-13

TEL 027-384-6600

FAX 027-384-6601

HPIはこちら



各種計画の調査・分析から策定まで、

ぜひお任せください!!

調査

分析

・アンケート、ワークショップ

・ビッグデータの活用

・GISを用いた分析・整理

計画

策定

・総合計画・都市計画マスタープラン

・立地適正化計画・地域公共交通計画

・人口ビジョン・総合戦略

官民連携事業についても

お気軽にお問い合わせください。



まち'sクリの独り言



今回のまちづくり情報はどうだったクリ？安中市や大泉町の庁舎建設のお話から「野球」というテーマで一つのまちをデザインしている桐生市のお話など様々クリ！まちづくりといっても、地域やテーマでまったく違うお話のようでわくわくだったクリ。今年ももう秋になり、11月はぐんまマラソンの季節クリ。普段は走れない車道を走るの、進化していくまち中を新たな視点で見渡せる貴重な体験でもあるからクリも頑張るクリ。

有料広告を随時募集しています。詳細につきましては、下記のお問い合わせ先まで、お気軽にご連絡下さい。



【お問い合わせ先】 群馬県国土整備部都市計画課企画推進係

TEL 027-226-3661 URL <https://www.pref.gunma.jp/page/11493.html>